

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

（都道府県名：熊本県 令和4年度）

市町村名	事業実施主体名	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況① 【共通目標】					成果目標の具体的な実績①	メニュー (対象作物・畜種等名)②	類別	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況② 【個別目標】					成果目標の具体的な実績②	海外展開に向けた進捗状況	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考		
			計画時(R1年)	1年後(R2年)	2年後(R3年)	3年後(R4年)	目標値(R4年)					達成率	計画時(R1年)	1年後(R2年)	2年後(R3年)	3年後(R4年)					目標値(R4年)	達成率	交付金	都道府県費					市町村費	その他
			計画時(R1年)	1年後(R2年)	2年後(R3年)	3年後(R4年)	目標値(R4年)					達成率	計画時(R1年)	1年後(R2年)	2年後(R3年)	3年後(R4年)					目標値(R4年)	達成率	交付金	都道府県費					市町村費	その他
熊本市南区南町	農事組合法人熊本すまみ農場	【野菜】新型コロナウイルス感染症前に比べて農産物(むき玉ねぎ)の供給量を増加 (H29～H31平均)	むき玉ねぎの供給量(kg)	むき玉ねぎの供給量(kg)	むき玉ねぎの供給量(kg)	むき玉ねぎの供給量(kg)	むき玉ねぎの供給量(kg)	327.1%	むき玉ねぎの供給量について、計画時よりも7.123%増加した	野菜(玉ねぎ)	131	当該品目の全出荷量に占める加工向け又は外食・中食向けの割合の増加	総出荷量(kg)	総出荷量(kg)	総出荷量(kg)	総出荷量(kg)	総出荷量(kg)	-24.6%	加工向け出荷量の割合について、計画時よりも3.7ポイント減少した。	輸出に向けたリサーチ等を実施し、熊本大同青果と台湾などアジアへの輸出に向けた販路の検討を行った。	玉ねぎ自動皮むき機 1台	6,270,000	2,850,000	712,000	712,000	1,996,000	令和3年3月2日	地震の影響や土壌病害等の発生があったが、生産量は増加した。しかし、令和4年度は、北海道で干ばつや高温により、市場において、生食用の引き合いが強かったため、加工用出荷が低迷した。JA指導員との連携を図り、栽培管理等の徹底を行い、生産量の増加を目指すとともに加工向け取引の増加に向け市場と交渉する。	総出荷量は順調に伸びており、むき玉ねぎの供給量も目標値を大きく上回っているため、加工向けの割合が増加すれば目標達成は可能。北海道など主産地の出来により青果用の販売価格が変動し、加工用の出荷量が大きく左右されるため、今後は加工向けの価格交渉や契約販売に取り組むよう関係機関と連携しながら支援を行っていく。	
熊本市	熊本市農業協同組合	【果樹】国産加工・業務用かんきつ類の供給量を新型コロナウイルス感染症発生前より増加	加工・業務用(kg)	加工・業務用(kg)	加工・業務用(kg)	加工・業務用(kg)	加工・業務用(kg)	-9.6%	加工・業務用かんきつ類の供給量が計画時より22.8%減少した。	果樹(ハウスみかん、温州みかん、中晩柑)	117	【果樹】当該品目の全出荷量又は全栽培面積に占める契約取引の割合を3ポイント以上増加	全出荷量に占める契約取引割合(%)	全出荷量に占める契約取引割合(%)	全出荷量に占める契約取引割合(%)	全出荷量に占める契約取引割合(%)	全出荷量に占める契約取引割合(%)	10.7%	全出荷量に占める契約取引割合(%)が計画時より3.13ポイント増加した。	輸出計画に基づき、シンガポール等に向けて輸出を開始している。令和4年度は、シンガポール、台湾、香港に46tを輸出し、計画量を上回る結果となった。	【工種】耕種作物共同利用施設 【施設区分】集出荷貯蔵施設	4,527,479,000	2,000,000,000	500,000,000	500,000,000	1,527,479,000	令和3年8月19日	施設導入3年目後、初年度同様要望される商品作りや働き方改革に向けた労働時間の短縮出来たが、令和4年度はコロナの影響でホテル等の業務需要が回復しなかったこと、及び極端な真年のため生産量が減少するとともに、全国的に生産量が少ない中で市場での生食用の需要が高かったこと等で目標には達しなかった。今後は、コロナの影響も緩和されるイバンド重要も見込まれることから、市場やホテル等業務用の実需者との協議を強化するとともに、加工用についても取引数量の拡大、契約での取引を行うよう協議を進める。	令和4年度はコロナ禍の影響で業務需要が回復しなかったこと、及び極端な真年のため全出荷量が減少するとともに、市場での生食用の引き合いが強かったため加工用原料果実の取引数量が減少した。契約取引数量は増加傾向にあるが、いずれも目標値とは大きく乖離している状況。成果目標の達成に向けて、ホテルや学校給食等に向けた業務用の契約を増やすため、関係機関と連携して具体的な方針を協議していく。	
八代市	株式会社かめやま	新型コロナウイルス感染症前に比べてレタス、キャベツの供給量を増加させる。(事業実施主体の現況)	レタス	レタス	レタス	レタス	レタス	102.4%	生産者が3名、取引先が2社増え、増産と共に加工向けの供給先を新規開拓した。また、予冷施設を使うことで廃棄量が削減でき、供給量の増加につながった。	レタス、キャベツ	131	レタス、キャベツの全出荷量に占める加工向け又は外食向けの割合を30%以上増加させる。	全出荷量	全出荷量	全出荷量	全出荷量	全出荷量	104.6%	加工用の取引先が増え、目標を1.4ポイント上回った。また、キャベツについては鉄コンテナの需要が大幅に増えた。	取引先の棚ダイヤベリーツリーフーズとアジア圏への輸出に向け検討した。	集出荷貯蔵施設(建屋968㎡)真空予冷機 予冷施設	262,955,949	119,525,000	0	0	143,430,949	R4年4月13日	真空予冷機、予冷施設を導入したことにより、品質の安定、在庫を持つことができるようになり、加工向けに安定して出荷することができた。また、コロナウイルスが落ち着いて外食・中食の需要も増えた。	予冷施設の活用により野菜の品質向上・廃棄削減につながり、外食等加工向けの安定供給が可能になった。全体の供給量及び加工・外食向けの割合共に目標値をやや上回っており、必要に応じて生産技術面などで支援を行う。	

市町村名	事業実施主体名	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況① 【共通目標】						成果目標の具体的な実績①	メニュー (対象作物・畜種等名)②	類別	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況② 【個別目標】						成果目標の具体的な実績②	海外展開に向けた進捗状況	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考				
			計画時(R1年)	1年後(R2年)	2年後(R3年)	3年後(R4年)	目標値(R4年)	達成率					計画時(R1年)	1年後(R2年)	2年後(R3年)	3年後(R4年)	目標値(R4年)	達成率					交付金	都道府県費	市町村費	その他								
			全体出荷(t)		全体出荷(t)	全体出荷(t)	全体出荷(t)						全体出荷(t)	全体出荷(t)	全体出荷(t)	全体出荷(t)	全体出荷(t)																	
錦町	球磨地域農協	【茶】茶葉の販売計画数量4.04%増加	396	令和3年9月稼働のため、実績無し。	91.9	449	412	331.2%	目標412tに対し、449tの出荷となった。	茶(緑茶用)	80	【茶】契約取引量指数の直近値が7以上増加。	393	令和3年9月稼働のため、実績無し。	91.9	449	412	115.3%	目標72.0%に対して、78.4%の指数となった。	令和3年の秋冬番から、契約販売先の製品に使用し、海外輸出を実施している。	ドリンク用茶葉製造ライン新設工事生葉受入コンテナ等増設製品置場新設生葉管理工程装置等処理能力:年間生葉処理能力1,131トン	776,133,600	352,788,000	88,197,000	75,538,000	259,610,600	令和3年9月29日	全体販売実績及び契約取引指数のどちらについても、目標を上回ることができた。	生産ラインの整備により、ニーズのあるドリンク原料茶向けに産地が大きくシフトしたため、生産者の当茶工場利用が増加し、全体販売実績及び契約取引指数のどちらについても、目標を上回った。生産者の収入を安定させ、産地を維持するため有効な選択であった。					
熊本市	熊本県果農協同組合連合会	国産柑橘果汁を使用した飲料製品の供給量は2,652.20トン(3ヶ年平均)	2881.30トン	2905.80トン	3265.80トン	2917.50トン(10%増加)	231.2%	国産柑橘果汁を使用した飲料製品の供給量が23.1%増加	みかん・中晩柑(加工原料用)	117	各JAとの加工用原料果実実約比率を15%増加	3,102	7,836	3,263	7,435	5,193	10,113	5,121	5,557	4,280	7,836	350.6%	各JAとの加工用原料果実実約比率が52.6ポイント増加	2021年9月より、フランス産柑橘果汁の輸入を開始。	耕作地産地基幹施設整備搾汁ライン一式処理能力20t/h、一次側供給設備、設備基礎等	1,785,217,500	811,462,000	202,865,000	0	770,890,500	令和3年8月31日	搾汁設備導入取組みにあたり、国産果汁製品供給量拡大方針を策定、供給量拡大を図ることにより23.1%増加した。加工用原料果実実約比率の増加は、中晩柑の加工用原料果実実約を行ったことで、契約比率が52.6%増加した。	搾汁施設の機能向上にあたり、国産果実を原料とした果汁製品へのシフトを試み、国産果汁飲料の供給量及び加工原料果実の供給量のいずれも目標値を大きく上回って達成することができた。加工原料取引数量は目標に達していないが、令和4年産は裏年傾向で生産量が大幅に減少したことが要因である。生産関係部署と連携し安定生産に向けて指導体制の強化が必要である。輸出にも取り組んでおり、今後も安定的な供給体制を維持し、生産者の経営安定に資するためにも原料果実の契約取引を拡充していただきたい。	

都道府県平均達成率	71.0%	総合所見	<ul style="list-style-type: none"> ・本県において、本年度の事業評価の対象となったのは5事業であり、成果目標は達成率90%で目標達成としている(90%未満で未達成とし、次年度以降改善報告書を求めることとしている)。2つの成果目標を共に達成したのが3事業、片方だけ達成したのが1事業、2つとも達成できなかったのが1事業であった。本県の平均達成率は71.0%であった。 ・成果目標が未達成となった2地区(熊本市南区城南町:玉ねぎ、熊本市全域:かんきつ類)の要因はいずれも加工・業務向けの出荷量や出荷割合の未達成であり、契約取引の拡大も含めて出荷体系の見直しが必要となる。 ・成果目標が未達成の2事業については、今後、事業主体に対して改善計画の策定及びその実践を指導するなど、地元自治体と連携して目標達成に向けた取組みを推進していく。
-----------	-------	------	--

- 2 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
- 3 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
- 4 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。